

かごしま みどりの基金だより

VOL.9
平成22年度版



かごしま美緑展知事賞作品



- 緑の少年団の活動
- 名木・古木などの保全
- 学校のみどりづくり
- かごしま美緑展



財団法人かごしまみどりの基金



美しい森林づくりのために

かごしまみどりの基金では、「緑の募金法」に基づく「緑の募金」活動を核としながら、地域における森林整備や緑の少年団活動の推進など県土のみどりづくりに取り組んできました。

近年、森林をはじめとする「みどり」の働きは、これまでの木材生産やおいしい水の供給する働きに加えて、地球温暖化防止に貢献する役割が大きくクローズアップされています。鹿児島県においても、今年4月からCO₂を吸収する森林の機能増進を図るため、地球温暖化対策課の中に森林吸収源対策係が設置されました。

かごしまみどりの基金の様々な活動は、正しくこのような方向に沿って実施されていますが、本県の森林は、木材価格の低迷などの理由から手入れのされない森林や竹のまん延しつつある森林が見られます。

今後、森林吸収源としての機能の高い美しい森林をつくっていくためには、先ず、多くの県民が森にふれ、森を楽しみながら実態を見ていただき、同時に、身の回りで可能な限りの県産木材を使用するなどして森林を支えていただくことが大切です。

木材は、カーボンニュートラル（CO₂の収支が中立）な資源であり、循環資源としての県産木材を使用することによって、木を植え、育て、伐って使うという循環が生まれ、結果として森林整備が促進され、美しい森林づくりが実現します。

このみどりの基金だよりでは、県下一斉に実施されている緑の募金活動、緑の少年団や森林ボランティアの活動支援など、かごしまみどりの基金の実施する主な事業等について紹介いたします。

平成22年8月

財団法人かごしまみどりの基金
常務理事 大坪 弘 幸

目次

1 緑化推進活動	
(1)緑化推進活動の現状	
①緑化推進の意義と歴史	1
②かごしまみどりの基金・緑化推進体制	1
③啓発普及・門松カード	2
(2)緑化推進イベント	
①みどりの感謝祭	2
②九州森林の日	3
③植樹祭	3
④美しい森林づくりキャラバン	5
⑤シンポジウム「地材地建の集い」	5
⑥水のえがおキャンペーン	6
⑦かごしま木材まつり	6
(3)緑化推進活動を支える人	
緑化活動推進員、森の名手・名人、グリーンマスター、森林インストラクター	6
2 緑の募金活動	
(1)緑の募金活動	9
(2)緑の募金の使い途	11
(3)緑の募金への協力	12
①アサヒビールの寄付	12
②企業・団体からの寄付	12
3 緑の少年団活動	
(1)趣旨・組織	13
(2)活動の状況	14
4 名木・古木などの保全	
(1)名木・古木等緑の文化財保全事業	19
(2)事業を実施した名木・古木	19
5 学校のみどりづくり	
(1)学校林の状況	22
(2)緑の募金学校の緑整備事業	23
6 森林ボランティアの活動	
(1)森林ボランティアの現況と活動	25
(2)全国一斉森林ボランティアの日の活動・フォーラム	25
(3)森林ボランティアの育成	27
かごしま森林の学校・森林ボランティア技術研修・九州・沖縄ブロック研修	
(4)森林ボランティア連絡会	29
7 美しい森林づくり「かごしま美緑展」	30
8 かごしまみどりの基金の組織体制	
(1)理事会・評議員会・運営協議会	35
(2)事務局・スタッフ	36

1 緑化推進活動

(1) 緑化推進活動の現状

① 緑化推進の意義と歴史

森林は、水源のかん養、木材の供給及び生活環境の保全など多くの恵みを我々に与えてくれ、最近では地球温暖化の防止に役立つ二酸化炭素の森林吸収源としての役割も注目されています。また、都市空間におけるみどりは、我々に快適な生活環境などの潤いを与えてくれます。

しかし、我が県の森林は、スギ、ヒノキ等の人工林において、森林整備の遅れや竹林のまん延などの課題があり、一方で県民の居住する近隣においても、みどりが少なく潤いのない地区等が見られるようになり、行政と民間が一体となった緑化への取り組みが重要な課題となっています。

我が国において、森林・みどりを維持し保全する緑化推進運動は、第2次大戦後の荒れた国土の復旧を目的に始められました。昭和25年、時の昭和天皇をお迎えして全国植樹祭が開催されるとともに、「緑の羽根募金」活動を中核として、国土緑化活動が始められています。

その後、平成7年に「緑の募金法」が制定されたことにより、「緑の羽根募金」活動は「緑の募金」として法的な根拠を得て、国民運動として格段の発展を遂げました。

今日では多くの県民の賛同を得ながら、緑の募金活動を核として緑化推進活動が進められています。



里山の様子



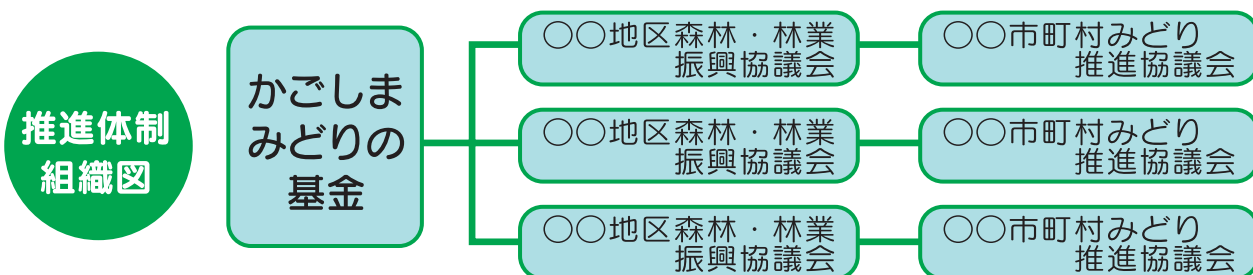
みんなで木を植えよう

② かごしまみどりの基金・緑化推進体制

鹿児島県においては、昭和26年に「鹿児島県緑化推進委員会」が設立され、県土の緑化推進運動の中核として活動を始めました。

平成5年9月13日には、多くの県民の出捐をもとに、県の策定した「グリーンプラン21」に基づき「財団法人かごしまみどりの基金」が設立され、緑化推進活動を促進しています。

また、各県地域振興局、支庁を単位として、地区緑化推進協議会(地区森林・林業振興協議会)が設置されるとともに、県内全ての市町村に市町村みどり推進協議会が設立されており、それぞれ、緑の募金活動をはじめ、独自の緑化推進活動を行っています。



③ 普及啓発・門松カード

森林やみどりの大切さや働き、森林整備や環境緑化の推進及び緑の募金活動などについて県民に普及啓発を図るため、バスのラッピング広告、新聞、TV、県の広報誌、ポスター及びホームページなどを利用した広報活動を行っています。また、マツの保全を図り、県民が古来より親しんできた風習や木の文化を守るため、町内会組織等を通じて県内の各戸に正月用の門松カードを配布しています。



ラッピングバス出発式



門松カード



カレンダー



ポスター(緑の募金、アサヒビール森林保全)

(2) 緑化推進イベント

① みどりの感謝祭

県民に森林に親しんでいただくため、毎年、県民の森において「みどりの感謝祭」を開催しています。新緑の美しい、旧みどりの日の4月29日(現在のみどりの日は5月4日)に、県民の森中央広場を中心に式典の他、森の散策、森の音楽会及び木工教室など多彩な催しが開催され、緑の少年団を始め、家族連れなど千人を超える県民に参加いただいています。



みどりの感謝祭(中央広場木工教室)



楽しい森の散策



開会式の様子
多くの県民が集まりました



苗木の配布
どれにしようかな



グリーン太郎君と握手

② 九州森林の日

平成20年度から九州7県と九州森林管理局が、毎年11月第2日曜日を「九州森林の日」と制定したことを記念して植樹祭を開催しています。平成21年度は、県民の森において、緑の少年団など約500人の参加のもと、広葉樹の植樹、森の音楽会及び緑の教室など多彩な催しが実施されました。



九州森林の日式典



九州森林の日（代表植樹）

③ 植樹祭

- 全国植樹祭と全国育樹祭は、国民に植樹、育樹活動に参加していただき、森林整備、環境緑化への啓発を目的として、毎年、開催されています。本県においても、天皇陛下、皇太子殿下をお招きして、昭和59年に第35回全国植樹祭、平成13年に第25回全国育樹祭が、当時の牧園町と県民の森で開催されました。
- 県内では、毎年、各地区ごとに、林業関係者、緑の少年団及び一般県民の参加の下、地区植樹祭を開催しています。かごしまみどりの基金では地区植樹祭の開催に際し、伊藤理事長からのメッセージとともに、苗木代10万円のほか、地拵えや歩道整備費等として30万円までの助成を行っています。
- 平成22年3月6日には、霧島市国分上之段の県畜産試験場敷地において家畜堆肥を利用した緑化活動展示植樹祭を開催しました。当日は深い霧の中で霧島市立塚脇小学校の児童や地区の皆さん約40名に集ってもらい、ヤマザクラ100本の苗木を植栽しました。

【平成21年度地区植樹祭実施地区】

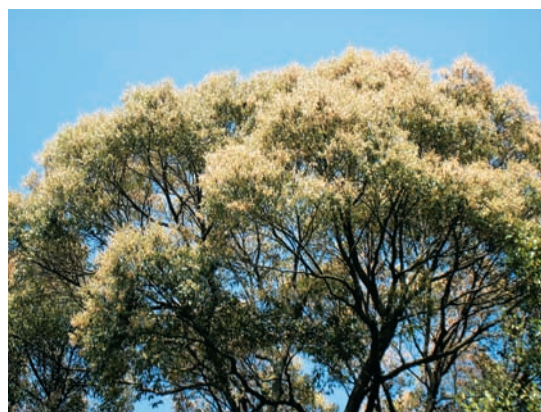
地区名	実施年月日	場 所	内 容 等
鹿 児 島 日 置	平成22年 2月13日	いちき串木野市 いちきアクアホール	吹上浜国有林内「青松の森」においてスーパーグリーンさつま200本を植栽した。
南 薩 指 宿	平成22年 2月 6日	吹上浜海浜公園	緑の学習園にクロガネモチ8本、タブノキ8本、スーパーグリーンさつま300本植栽
始 良	平成22年 2月23日	栗野岳レクリエーション村	森林公園にソメイヨシノ、タブ、イチイガシ、クヌギ、を植栽
伊 佐	平成22年 2月13日	十曾池公園	十曾池公園内にソメイヨシノ、トチノキを植栽
曾 於	平成22年 2月 6日	曾於市財部町清流の森	キャンプ場及び森林内にヤマザクラ、イロハモミジを植栽
肝 属	平成22年 1月30日	鹿屋市霧島ヶ丘公園	公園内にソメイヨシノ、ヤマザクラを植栽
熊 毛	平成21年 11月20日	中種子中央運動公園	公園内にヤエザクラ、ヒラドツツジを植栽
大 島	平成22年 2月 9日	徳之島交流ひろば ほーらい館	ほーらい館広場にコバノサندانカ、ハイビスカス、ホウオウボク、イジュなど植栽



地区植樹祭（徳之島交流広場）



みんなで植えよう



豊かな森林づくりのために（県民の森）

④ 美しい森林づくりキャラバン

美しい森林づくりとは、間伐等の保育を適切に実施するとともに、長伐期化や広葉樹林化など多様な森林づくりを推進し、みどり豊かな国土を次世代に引き継いでいこうとするものです。

この運動を進めるには林業関係者のみならず、企業や団体など多様な主体により推進していくことが大切で、各地域の企業・団体等に呼びかけています。

平成21年度も、美しい森林づくりキャラバン活動を1月早々に実施しました。今年は県内各地の報道機関、行政機関、企業、団体など100カ所余りに呼びかけ、特に、「おいしい焼酎のためにはおいしい水が、おいしい水のためには、美しい森林が」と焼酎醸造メーカーを重点的に活動しました。



NHK鹿児島放送局にて趣旨説明
このあと昼のニュースで放映されました



焼酎醸造メーカーにて

⑤ シンポジウム「地材地建の集い」

シンポジウムは、「美しい森林づくり地材地建のつどい」と称し、平成21年11月28日、県民交流センター講堂にて開催されました。

美しい森林づくりのためには、地域産材が利用されてはじめて実現するとの思想の下、藤原ウッドマイルズ研究会代表運営委員及び大重かごしま材振興企画監の基調講演の後、パネラーに鹿児島女子短期大学古川教授、工業技術センターの山角木材工業部長及び地材地建「匠の会」福迫会長、コーディネーターに基金の大坪常務があたりました。会場では、途中でケーナの演奏を挟み、100名以上の出席者を交え熱心な討議が行われました。



基調講演 藤原氏



基調講演 大重氏



ケーナの演奏



パネラーの皆様方



会場からも熱心な意見が

⑥ 水のえがおキャンペーン

水のえがおキャンペーンは、川上の森林から川下、海に至るまでの水環境を保全しようとする活動です。平成21年で第17回目となりますが、特に、当年度からは、主催団体の一員として参加しています。県内各地から参加した30家族約100人が、バス2台を連ねて伊佐市を中心に十曽池の水源地見学やヒノキの森林の間伐など水域の保全について認識を深めました。



間伐体験（伊佐市関白陣）



水辺美化作業（十曽池公園）

⑦ かごしま木材まつり

毎年実施されるかごしま木材まつりには、緑の募金ブースを設け、木工体験など楽しみながら緑の募金への呼びかけをしています。県産材の利用拡大を図ることが、森林所有者の森林経営意欲増進へ、さらには森林整備へと繋がることを期待して参加しています。



緑の募金ブース



何ができるかな？

(3) 緑化推進活動を支える人

○ 緑化活動推進員

かごしまみどりの基金では、緑の少年団活動をはじめとする地域の緑化推進活動を促進するために、県内の各地域に緑化活動推進員を委嘱しています。現在、県内各地域で活躍している緑化活動推進員の13名を紹介します。

緑化活動推進員

活動地区	氏名	連絡方法	活動地区	氏名	連絡方法
鹿児島	柳原美佐雄	Tel/fax 099-264-7552	伊佐	小山五十三	Tel/fax 0995-26-1850
鹿児島	片野坂清則	Tel/fax 099-258-9214	始良	花田茂昭	Tel 0995-76-1626 携帯 090-3662-5811
指宿	今村俊一	Tel 0993-22-4255	曾於	堀之内裕行	Tel 099-476-3611 e-mail:h-hori@wilderness.jp
南薩	大藺良一	Tel 0993-56-1875	肝属	早崎郁郎	Tel 0994-40-1259
日置	山下悟	Tel/fax 099-272-3489	熊毛	徳永春雄	Tel/fax 0997-26-6367
川薩	坂口睦徳	Tel/fax 0996-21-4181	大島	瀧源廣	携帯 090-7929-6591
出水	原田典充	Tel/fax 0996-62-7706			



ドングリころころ植樹祭は緑化活動推進員の指導の下で実施される

○ 森の名手・名人

森や山に関わる生業や地域生活にしみこんだ営為のうち、優れた技を持ってその業を究め、他の技術・技能者、生活者の模範となっている達人たちを「森の名手・名人」と称します。国土緑化推進機構が、毎年、全国で100名を選定しており、鹿児島県内で現在までに17名選定されています。

【森の名手・人名簿】

(市町村名、年齢は選定当時)

平成	市町村	氏名	年齢	職能	技能内容
14	知覧町	富永 今男	74	竹細工	知覧傘提灯(県伝統工芸品)
	指宿市	木原 修三	54	つげ櫛製作	薩摩つげ櫛の製作
15	いちき串木野市	下青木 和一	65	造林手	植栽から製材までの一環林業経営、育林技術
	奄美市	長 勲	57	ハブ捕り	ハブ捕り名人
	蒲生町	岩元 孝幸	54	筍堀り	視認による早堀筍の生産
	大隅町	津留 辰矢	67	樽職人	焼酎蒸溜用スギ樽製造
16	さつま町	市来 秀記	82	竹工芸	竹工芸名人
	知覧町	東垂水 静雄	73	木馬	馬による木材搬出 ダイゴロ
17	福山町	砂田 則夫	73	造林手	苗木づくり名人
	奄美市	坪山 豊	74	船大工	木造船づくり
	菱刈町	松山 清則	56	山芋堀り	自然薯栽培、天然自然薯堀り
18	日置市	東峯 政勝	65	造林手	苗木づくり名人
	さつま町	野元 八千代	78	紙漉	手漉き鶴田和紙製法の伝承者
19	知覧町	御園 益雄	84	自在鉤製作	自在鉤製作の第一人者
20	霧島市	山本 保幸	61	シイタケ栽培	シイタケ栽培の名人
21	屋久島町	高田 久夫	75	生産・搬出	屋久杉の土埋木の生産と搬出
	志布志市	中川 式司郎	63	シイタケ栽培	シイタケ栽培の名人
17名					



土埋木生産搬出の高田名人（土埋木の生産現場写真の前で）



後継者（息子さん）とシイタケ栽培に取り組む中川名人



小学校の林業教室で中川名人

○ グリーンマスター

「みどりづくり」や森林内での活動を普及啓発・指導するとともに緑を支える後継者の育成指導を行う者で、平成14年度から鹿児島県知事が40名認定しています。

【グリーンマスター名簿】

氏名	住所	氏名	住所	氏名	住所
清水 建司	鹿児島市	喜久忠人	鹿児島市	荒木 妙子	出水市
日高一富	鹿児島市	塩川 英彬	鹿児島市	肱岡 和彦	出水市
村場 和敏	鹿児島市	中島 和美	鹿児島市	山浦 安生	霧島市
今釜 春良	鹿児島市	四本 紘	鹿児島市	居細 工実	霧島市
林 武徳	鹿児島市	山下 謙	指宿市	清家 優子	加治木町
樋高 つる子	鹿児島市	秋元 智雄	指宿市	徳部 健一	加治木町
久永 悟	鹿児島市	上野 良子	南さつま市	大浦地 政廣	始良町
池田 和吉	鹿児島市	上野 義光	南さつま市	野村 利憲	蒲生町
高須 順子	鹿児島市	上村 静好	日置市	竹中 勝雄	湧水町
上村 行生	鹿児島市	森山 リミ	薩摩川内市	有水 文子	湧水町
内野 一幸	鹿児島市	中脇 岩男	薩摩川内市	福元 良男	伊佐市
小山 五十三	伊佐市	川崎 喜久	垂水市	瀧 源廣	奄美市
松山 みち子	鹿屋市	東 顕	肝付町		
新牛込 和広	鹿屋市	馬場 興市	志布志市		

○ 森林インストラクター

森林・林業についての知識や経験を持ち、県民や緑の少年団等に森林の案内や林業についての知識を与えることのできる人のことです。これまでに平成4年から8年まで「鹿児島県森林インストラクター講座」及び平成14年から17年までの「平成の山学校」で242名の県森林インストラクターを養成しています。

現在、平成20年度から「かごしま森林の学校」で54名のインストラクターを養成しており、合計296名の鹿児島県森林インストラクターを養成しました。



森の案内をする森林インストラクター（県民の森）

2 緑の募金

(1) 緑の募金の現状

緑の募金は、第2次大戦後の荒廃した国土のみどりによる復興を目的として「緑の羽根募金」として始められましたが、現在は、平成7年に制定された「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」により、実施されています。鹿児島県ではかごしまみどりの基金のみがその実施団体として認定されています。

募金活動は様々な形で実施されていますが、町内会活動等を通じた家庭募金が中心となって、企業募金、職場募金、学校募金、街頭募金などの方法で協力をいただいています。

【募金目標額と実績】

鹿児島県募金目標額 1億円
平成21年度実績 7,166万円

【募金の目的】

- ・ 豊かな森林をつくるために
- ・ 地球温暖化防止のために
- ・ 地域や学校のみどりづくりのために
- ・ 緑の少年団、森林ボランティアの育成に

【募金期間】

春期 2月1日～ 4月30日
秋期 9月1日～10月31日

【税制上の優遇措置】

当基金が特定公益増進法人の認定を受けているため、募金に協力された団体、個人には次のような優遇措置があります。

法人・団体が寄附した場合	通常の寄付金の損金算入限度額 (資本金×0.25%+所得金額×2.5%)×1/2の2倍
個人が寄附した場合	寄付金控除額 【寄付金額(総所得の40%上限)－2千円】まで損金算入可



グリーン太郎

緑の募金のグリーン太郎君



緑の募金箱



緑の募金スタートセレモニー（県庁2階）
～伊藤理事長から附属中緑の少年団へ～



街頭募金（天文館ピラモール）
～ご協力有り難うございます～



街頭募金（天文館G3）



街頭募金（ドルフィンポート）



街頭募金（中央公園）

～僕たち、私たちも一生懸命緑の募金をお願いしました～



地区緑化推進協議会及び
各市町村緑の募金窓口



募金グッズ（エコバッグ、タオル、伊佐ヒノキの箸）

【カレンダーバザー展】

全国の企業等から寄贈いただいたカレンダーを県民に買っていただき、売上金の全てを緑の募金とする緑の募金カレンダーバザー展を実施しています。

平成21年度は、12月19日から21日まで鹿児島市の「ダイエー鹿児島店」、20日まで霧島市の「国分山形屋」入り口及び鹿屋市の「プラッセだいわ」で多くの森林ボランティアの協力を得ながら実施しました。



カレンダーバザー展の様子（左、プラッセだいわ店、右、ダイエー鹿児島店）

【緑の募金対応飲料水自動販売機】

ペットボトルや缶コーヒーなどの飲料水自動販売機について、緑の募金対応の契約をしていただきますと売上金の2%が自動的に緑の募金となるシステムです。現在、県庁の行政棟やマリンポートかごしまなど、県内約20カ所に設置していますが、最近では設置に協力いただく企業も出てきています。



緑の募金対応飲料水自動販売機

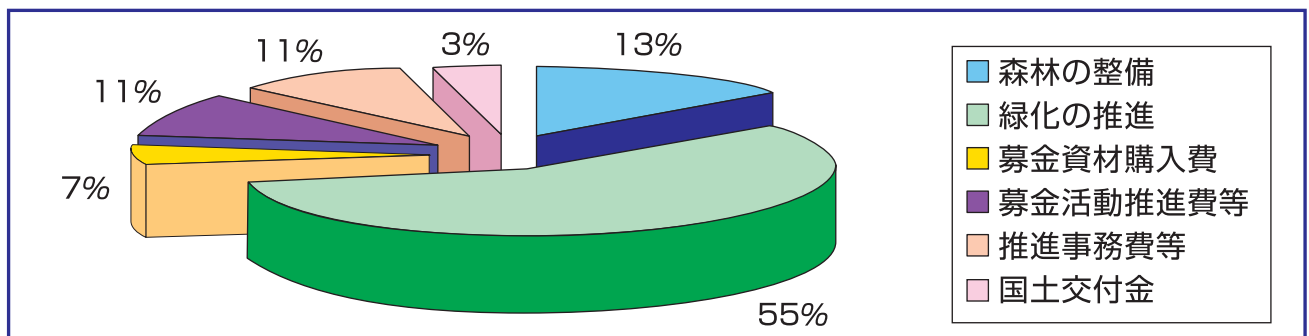


空き缶回収箱（マリンポートかごしま）

(2) 緑の募金の使い途

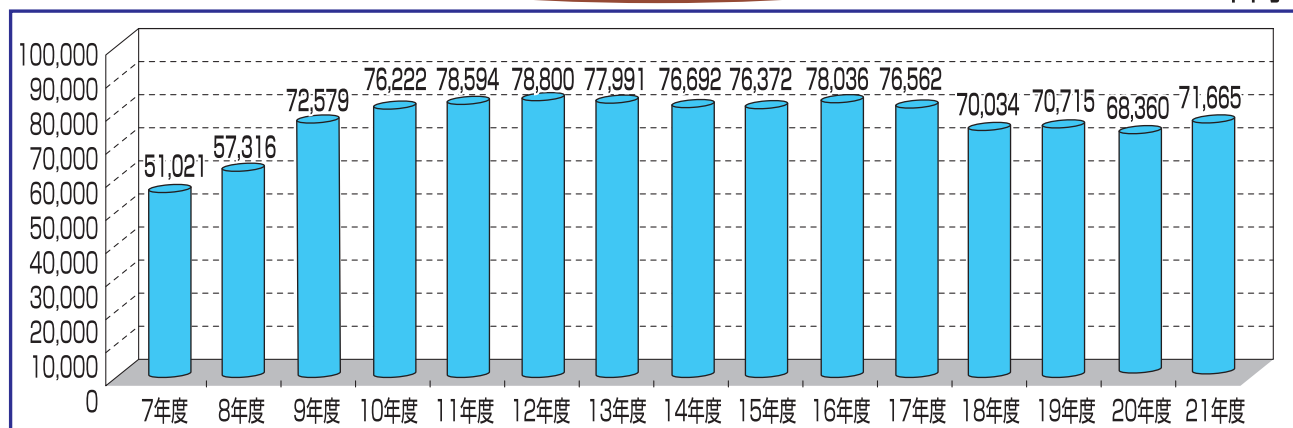
緑の募金の使い途は、法律で森林整備、環境緑化及びこれらについての国際協力にのみ使用することと用途が制限されています。県内の各市町村みどり推進協議会の募金額の6割は、それぞれの市町村独自の森林整備、緑化活動に使用され、残りは、森林ボランティア団体や緑の少年団の活動費助成及び公共施設の緑化などに使用されます。

緑の募金 用途実績



緑の募金実績

千円



(3) 緑の募金への協力

緑の募金への協力は、町内会活動などを通じた募金活動が中心となっていますが、近年は企業の社会的責任活動(CSR)の一環としての協力も多くなってきています。本県内の企業では、かねてから南九州ファミリーマートや京セラ県内各工場などから多額の寄付をいただいているところですが、平成21年度はアサヒビールから多額の寄付がありました。

① アサヒビールの寄付

アサヒビール株式会社では、「うまいを明日へ！プロジェクト」で全国都道府県ごとの自然や環境、文化財等の保護保全活動に、スーパードライ対象商品1本につき1円を寄付する活動を行っています。

平成21年度秋期の第2弾と平成22年度春期の第3弾については、植栽や間伐などの森林整備や子供たちの森林学習活動などに役立てるためかごしまみどりの基金に寄付されました。さらに、平成22年度秋期の第4弾についても当基金へ寄付されることとなりました。



アサヒビール平野執行役員から伊藤理事長へ
平成21年度秋期分561万余円の目録贈呈



寄付の趣旨等について記者発表

② 企業・団体からの寄付

多くの企業・団体から緑の募金に寄付をいただいておりますが、その方法は様々です。毎月、毎年定期的に、または、企業の創立記念事業等として寄付される企業などです。寄付をくださった企業・団体については、そのつど、当基金のホームページに掲載しています。

【過去5年間に10万円以上の寄付をくださった企業・団体】

アサヒビール株式会社、京セラ株式会社、南九州ファミリーマート、南日本新聞社、鹿児島トヨペット株式会社、えむふぁみりー会、南九州コココーラボトリング、南九州ビバレッジサービス、九州電力株式会社、有限会社大竹商店、株式会社上集組、県農協中央会、白玉醸造合名会社、ハラダ製茶株式会社、南日本広友会、富士通インフォネット、森林土木協会日置支部、株式会社フェニックス、しもんそマルヒラ、阪東機工株式会社、日本生活協同組合連合会、南九州金属工業株式会社、株式会社新日本科学、NTTドコモ九州、山林種苗組合指宿支部、九州出光会、県森林組合連合会、鹿児島県建設業協会、県林材協会連合会、県港湾漁業建設協会、マリックスライン株式会社、株式会社ニチア、カネイヒトコト製茶

3 緑の少年団活動

(1) 趣旨・組織

各学校単位や地区単位で小中学生を中心とした緑の少年団が結成され、植樹活動、森林体験活動、地域の花壇づくりなど様々な活動に取り組んでいます。現在、県内に64団、1,731人が活躍しています。

また、各緑の少年団ごとに緑の少年団を育成、指導する育成会が結成されており、育成会を含め、緑の少年団鹿児島県連盟が結成されています。

【緑の少年団一覧表】

支部	団名	小学生		中学生		合計	支部	団名	小学生		中学生		合計	
		男	女	男	女				男	女				
鹿	宮	4	10	0	0	14	北	鹿島町	8	6	8	5	27	
	桜洲	9	8	0	0	17		佐志	14	7	0	0	21	
	桜峰愛郷	5	1	0	0	6		大馬越	9	5	0	0	14	
	福平	4	4	5	3	16		藺牟田	6	14	0	0	20	
	黒神中	0	0	5	4	9		永野	12	5	0	0	17	
	清水中	0	0	27	29	56		紫尾	6	4	0	0	10	
	吉野東中	0	0	22	5	27		里	6	7	7	6	26	
	河頭中	0	0	25	25	50		陽成	6	6	0	0	12	
	皇徳寺中	0	0	15	5	20		薩	蔵之元小	16	12	0	0	28
	福平中	0	0	35	31	66		鶴川内	10	9	3	1	23	
	緑丘中	0	0	15	8	23		幣串	4	12	0	0	16	
	武中	0	0	43	37	80		高尾野	1	1	2	2	6	
	東桜島中	0	0	6	4	10		本城	20	17	0	0	37	
	児	鹿大付属中	0	0	24	20		44	始良	高熊山	18	10	0	0
武岡中		0	0	19	10	29	霧島山	7		7	0	0	14	
伊敷台中		0	0	10	10	20	高岡	10		8	0	0	18	
長田中		0	0	13	0	13	北山	12		13	3	1	29	
西紫原中		0	0	5	0	5	竹子	18		16	0	0	34	
桜島中		0	0	60	61	121	安良	32		34	0	0	66	
坂元うちの		5	15	0	0	20	伊佐	霧島小		5	5	0	0	10
一倉		8	11	0	0	19		長谷		15	3	0	0	18
三重岳		16	24	0	0	40		川添		4	4	1	7	16
鹿児島玉龍		0	0	60	59	119		福山中		0	0	20	15	35
遠見番山	1	0	1	9	11	蒲生くすのき		7	0	2	2	11		
島	川上	13	8	0	0	21	曾於	恒吉小学校	7	9	0	0	16	
	伊集院町	11	9	0	0	20		潤ヶ野	17	15	8	6	46	
	串木野	11	7	0	0	18		財部北小学校	5	3	0	0	8	
	南	宮ヶ浜	13	14	1	1	29	肝属	猿ヶ城	10	17	0	0	27
		仙洞岡	17	12	0	0	29		横尾岳	9	27	0	0	36
		知覧小	11	17	0	0	28		大原	6	2	0	0	8
		清水	4	9	0	0	13		大島	11	5	0	0	16
		青戸	9	10	0	0	19		大山	11	8	4	3	26
								合計	463	450	449	369	1731	

(2) 活動の状況

各緑の少年団は、鹿児島県と当基金などが県民の森で開催する「みどりの感謝祭」へ参加したり、それぞれの地域において森林体験学習や緑化活動のほか、街頭募金などの緑の募金活動にも取り組んだりしています。また、毎年8月の第一土曜日、日曜日には、緑の少年団活動発表大会と交流集会在が開催され、多くの少年団が参加しています。交流集会では、県民の森において森の散策やキャンプファイヤー、そしてテント宿泊など楽しい2日間を過ごします。



緑の少年団の活動（県民の森にてみどりの感謝祭）



緑の少年団活動実績発表会、交流会の様子(霧島市溝辺町みそめ館)



楽しいキャンプファイヤー




朝のラジオ体操


県民の森にてキャンプ活動

各緑の少年団は、それぞれの地域において活動していますが、次ページから各地域で活躍する緑の少年団の活動の様子を紹介します。


東桜島中緑の少年団（鹿児島市）

団員	男子 6名	女子 4名	合計 10名	
主な活動の様子	<p>主に、緑の募金活動と「どんぐりころころ」植樹祭に向けた活動、校内緑化活動に取り組んでいます。どんぐりは、地域の方の指導を仰ぎながら、全校生徒で実を蒔き、元気に育つようにと願いを込めて、一鉢に一本ずつ植え替えをし、水やりをして育てていきます。</p> <p>校内で育てた花を、地域の公共施設にも置かせてもらい小さいながらも、緑化意識の高揚に努めています。</p>			

伊集院町緑の少年団（日置市）

団員	男子 11名	女子 9名	合計 20名	
主な活動の様子	<p>飯牟礼小学校5・6年生で構成されています。私たちは学校林を活用した活動をとおして、「自然の大切さ・命の尊さ・豊かな心」の3点について学び、考えを深めて行動しています。学校林では整備作業や登山、動植物の観察などを行っています。学校林が私たちにとって、身近な存在であって欲しいという願いを込めて、平成20年には、150本のクヌギを植樹しました。</p> <p>また、毎年4月に、鹿児島市内で行われる緑の募金活動に参加し、たくさんの方に募金の呼びかけをしています。</p>			

宮ヶ浜緑の少年団（指宿市）

団員	男子 14名	女子 15名	合計 29名	
主な活動の様子	<p>指宿市の宮ヶ浜地域は、錦江湾に隣接し、自然環境が最も重要であると感じております。「宮ヶ浜緑の少年団」の清掃活動が、小・中高生・地域住民・地域企業まで広がり、現在では450人を越え、皆で環境美化に取り組む様になりました。また、失われた松林の故郷再生事業にも関わり、着実に次世代に「環境という名のバトン」が引き継がれるように感じています。</p>			

知覧小学校緑の少年団（南九州市）

団員	男子 11名	女子 17名	合計 28名
主な活動の様子	<p>本校の学林地は、明治34年にクスノキ913本を植樹したのが始まりで、現在では8.95haを有しています。緑の少年団では、学林地に季節感のある木を植えたり、添え木の補修をしたり、草刈り、枝打ち作業等を行っています。保護者もPTAで山林部をつくり、環境緑化の活動を続けてきています。また、保護者のみならず、地域の方々も会費の納入等で活動を支援してくださっています。夏休みには、学林地1泊2日のキャンプを予定しています。</p>		



鹿島町緑の少年団（薩摩川内市鹿島町）

団員	男子 16名	女子 11名	合計 27名
主な活動の様子	<p>私たちの少年団では、公民館の花壇等へ花苗の植え付け、町内一斉清掃への参加（毎月）、樹木への名札付け、しめ縄作り、植樹活動などを行っています。鹿島は海のきれいな所です。そのきれいな海を支えるのが豊かな緑です。しかし、鹿島は冬の間、台風のような強風が吹き、植物が育ちにくい所です。それでも、私たちは、鹿島を明るくするため、厳しい環境の中で育つ鹿の子百合など周りの自然に目を向けながら、緑化活動を進めています。</p>		





幣串緑の少年団（長島町）



団員	男子 4名	女子 12名	合計 16名
主な活動の様子	<p>本団は、鹿児島県の最北端に位置する離島、獅子島の幣串小学校児童で構成しています。幣串小学校は、全国で唯一と思われる無人島（ひょうたん島：学校所有）を学校林として持っています。本団は、この島を自然保護・環境教育の場と考え、様々な活動の機会をつくり、マイツリーの植樹や観察、施肥、レクリエーション、島の清掃活動を行っています。ひょうたん島活動を通して、団員は自然愛護やボランティア精神、環境問題への関心を育て、引いては自分たちの故郷幣串を守っていかうとする強い心を育てていきます。</p>		





本城緑の少年団（伊佐市）

団員	男子 20名	女子 17名	合計 37名	 
主な活動の様子	<p>本城小学校のすぐ目の前に城山があり、まさに緑の少年団の象徴として、何時も私たちを見守ってくれています。昭和52年に結成され、これまで校区内4集落の子ども会を中心に活動してきました。しかし、少子化の影響で子供が減少し、団の運営が困難となり、一時は解散の危機を迎えましたが、校区公民館推進委員会の役員会で検討の結果校区公民館組織の青少年部の中に位置づけ、公民館活動の一環として取り組むことにしました。今後、郷土史跡の清掃活動・環境学習等を通して、緑の大切さ・山林の役割・緑を愛する心を持った子供たちを育てる活動を推進していきます。</p>			



北山緑の少年団（始良市）

団員	男子 15名	女子 14名	合計 29名	 
主な活動の様子	<p>北山緑の少年団は、昭和57年に結成されました。北山小学校1年生から山田中学校3年生までの希望者で構成されています。したがって、低学年の子供たちも参加しやすい年間計画をたてて活動しています。これまで、地域の緑化活動や募金活動等に継続的かつ積極的に参加してきました。しいたけ栽培活動や、里山遊びも楽しい活動の一つです。また、ジュニア樹木検定もあり、検定に合格しようと樹木の勉強にも熱心に取り組んでいます。</p>			

恒吉小緑の少年団（曾於市）

団員	男子 7名	女子 9名	合計 16名	 
主な活動の様子	<p>恒吉小緑の少年団は、毎年、みどりの感謝祭や少年団活動発表大会に欠かさず参加し、みどりの学習をしたり、他の団との交流を深めたりしながら、森の学習を楽しく行っています。地域の活動では、植樹祭への参加、弥五郎どん祭りのパレード参加と募金活動がんばっています。緑の大切さを地域の方々に理解していただけるよい機会となっています。学校では、育成会や森林組合の協力をもらいながら、学校林の管理（下払い・つる切り）を行っています。学校林では、スモモやぐみ梅や栗が収穫できます。</p>			

大原緑の少年団（錦江町）

団員	男子 6名	女子 2名	合計 8名	
<p>主な活動の様子</p>	<p>大原緑の少年団は、昭和56年に結成された歴史の古い少年団です。団員は大原小学校3年生以上の児童で構成され、今年は団員8名となっています。少人数のため思うように主催行事はできませんが、照葉樹の森や学校と連携し、木工クラフト活動や森林環境学習、空き缶拾い等のボランティアに取り組んでいます。</p> <p>今後も地域に密着し、緑を愛し、守り育てる活動を展開し、少しでも後世に緑豊かな自然を残せたらと思います。</p>			 

大山緑の少年団（知名町）

団員	男子 15名	女子 11名	合計 26名	
<p>主な活動の様子</p>	<p>大山緑の少年団は、一時活動の停止期間がありましたが、活動を再開して4年になりました。私たちは団活動を通して、次代を担う子供たちが緑に親しみ、緑を愛し、緑豊かな故郷や人を愛する心豊かな人間として育っていくことを目的として、植樹祭や海岸清掃等の美化活動に積極的に参加しています。21年度においては、町内の有識者と大島支庁の林務水産課の方を講師として依頼し、森林体験学習活動を実施しました。今後、植物採集やキャンプ等のレクリエーション活動も取り入れ、楽しく有意義な緑の少年団活動をめざしていきます。</p>			 



4 名木・古木などの保全

(1) 名木・古木等緑の文化財保全事業

この事業は、緑の募金を活用し、県内各地に賦存する名木・古木等を保全することにより、県民の森林・林業への理解を深めるとともに地域のみどりを保全するため平成21年度から実施しています。この事業により保全する対象は、県内各地に賦存する名木・古木はもとより、特に文化財などに指定されていなくても地域の県民に親しまれている樹叢(じゅそう)等も含まれます。事業は、各市町村みどり推進協議会からの申請により、樹木医の診断を受け、その結果に基づき保全工事を実施します。

平成21年度は、5件の計画に対し、下記の表の通り11件の申請があり、そのうち8件の保全工事を実施しました。

	名 称	所 在 場 所	樹 種, 本 数, 樹 齢
1	甌島地区アコウの木群	薩摩川内市里町里	アコウ5本、不明
2	手打小学校記念樹	薩摩川内市下甌町手打小学校	センダン1本、約200年
3	出水市名木指定5号	出水市麓町9-13出水小学校	エノキ、1本
4	一之宮神社のご神木	いちき串木野市大里1274	イヌマキ、1本、600年
5	鎮守神社の大楠	鹿屋市川西町4,859番地先	クス1本、500年
6	隈之城小学校記念樹	薩摩川内市隈之城小学校	センダン、1本、154年
7	神殿小学校校庭樹	南九州市川辺町神殿5686	カエデ1本、樹齢不詳
8	高瀬宅クロガネモチ	志布志市志布志安楽1398-1	クロガネモチ、100年上1本
9	こぶ付松	南九州市知覧町塩屋15066	ゴヨウマツ、6本、200年
10	妙見温泉のスギ・エノキ	霧島市牧園町中津川2234	スギ500年、3本
11	高橋のひとっぱ	南さつま市金峰町高橋3060	イヌマキ1本、500年

(2) 事業を行った名木・古木

① 甌島地区アコウの木群

薩摩川内市里町里の里港近くのアコウの木5本のうち、特に樹勢の弱った1本について枯れ枝の剪定、腐朽部の切除及び土壌改良を実施しました。保全事業費407,000円



保全工事の完成



土壌改良施工中

② 手打小学校記念樹

薩摩川内市下甕町手打小学校の校庭の真ん中にある樹勢の衰えたセンダンの木について腐朽部の切除、土壌改良及び支保工を実施しました。保全事業費378,000円



保全工事の完成



腐朽部の切除、枯れ枝の剪定

③ 出水市名木指定5号

出水市麓町出水小学校の敷地内にあるエノキが石垣工事などのため樹勢が弱っており、枯れ枝の剪定、腐朽部の切除及び土壌改良を実施しました。

保全事業費485,000円



保全工事の完成



高所作業車によるヤドリギの除去

④ 一之宮神社のご神木

樹齢500年以上といわれるイヌマキが高齢や踏圧そして周囲の樹木の陰となり、衰退しつつあったので、周囲の樹木の剪定、枯れ枝の剪定及び土壌改良を実施しました。

保全事業費276,000円



保全工事の完成



高所作業車による周囲の高木剪定作業

⑤ 鎮守神社の大楠

鹿屋市川西町の鎮守神社の大楠の樹勢が弱ってきたため、腐朽部の切除及び土壌改良を実施しました。保全事業費429,000円



保全工事の完成



堆肥などによる土壌改良

⑥ 隈之城小学校記念樹

薩摩川内市隈之城町隈之城小学校の校庭中央にあるセンダンの木が、踏圧などにより、樹勢が弱ってきたため、枯れ枝の剪定及び土壌改良を実施しました。保全事業費385,000円



校庭中央にあるセンダンの木の保全工事



どんなことをやるのかな 興味津々

⑦ 神殿小学校校庭樹

南九州市川辺町神殿小学校校庭の脇にあるカエデの大樹が、生育している土手の浸食などにより樹勢が弱ってきたため、土壌の流出防止柵を設置し、堆肥などの土壌の盛土を行いました。保全事業費297,000円



この木のように大きくなろうね



土壌改良工事の状況

⑧ 妙見温泉のスギ

霧島市牧園町中津川妙見温泉折橋旅館脇のスギの大木が腐朽や周囲のコンクリート舗装等により衰退しつつあったため、一部コンクリート舗装をはがすとともに土壌改良や腐朽部の除去などを実施しました。保全事業費351,000円



保全工事の完成



コンクリート舗装のハツリ工事

5 学校のみどりづくり

(1) 学校林の状況

小中高校生の森林教育、環境教育、勤労教育の場としての学校林は、小中高校に310校、1,214ヘクタールあります。しかし、近年、スギやヒノキなどの植栽木が大木となり、児童生徒やPTA等の手に負えなくなるなどの理由から放置されるケースが多く、必ずしも学校林活動が活発とはいえない状況にあります。このため、かごしまみどりの基金では、平成21年度から次項に掲げる緑の募金を活用した助成制度を始めました。

学校林の現況		
区分	学校数	面積
小学校	203校	596ha
中学校	78校	368ha
高校	29校	250ha
計	310校	1,214ha



学校林を森林学習、環境学習及び情操を育む場として活用したい

(2) 緑の募金学校の緑整備事業

かごしまみどりの基金では、平成21年度から学校林整備及び学校環境緑化（県産材木製施設を含む）を推進することにより、児童・生徒等が森林・林業・みどりへの理解を深めるとともに情操を育むため、緑の募金を活用し、緑の募金学校の緑整備事業を始めました。

この事業の対象地は、県内の小中高校の学校林及び保育園・幼稚園・大学・短大を含む学校の校庭とし、整備はできる限り、児童生徒やPTAの手による実践活動として実施することとしています。平成21年度の実施校は次の通りです。

① さつま町立佐志小学校

学校敷地内の樹木に子供たちの手で木製樹名板を設置するとともに、県産材を使用したベンチを4基設置しました。また、同じく県産材を使用した木製プランター70個を子供たちの手で製作しました。事業の実施で校庭の樹木や県産材への関心を深めることができました。

事業費165,665円



木陰にベンチができてうれしいな



手作りの樹名板



組立てたプランター

② さつま町立流水小学校

学校敷地内に、子供たちの手でハナモモなど12本の植栽や木製樹名板を設置するとともに県産材を使用したプランター20個の製作、緑陰読書用ベンチ4基及び花壇の枠を設置しました。事業の実施で校庭の樹木や県産材への関心を深めることができました。

事業費289,000円



学校のシンボルツリークスの木の下で



ベンチや樹名板もできました





ハナミズキやイワツツジも植えました

③ 大崎町立菱田小学校

学校敷地内に、子供たちの手でヒノキなど20本の植栽や木製樹名板を設置するとともに県産材を使用したテーブルベンチセット2基を設置しました。事業の実施で植えた樹木や県産材への関心を深めることができました。

事業費365,000円



自分たちの手で植樹
(緑化樹木植栽)



緑陰でのおしゃべりや読書が楽しみだな
(県産材によるテーブルベンチセット)

④ 伊佐市立曾木小学校

平成21年度ローソン緑の募金学校環境モデル事業を実施しました。学校内に植えた木は、ヤマザクラ10本、ケヤキ8本、アジサイ40本など75本で平成22年5月10日にその完成式典を行いました。



アジサイの植樹



ヤマモモも植えました

6 森林ボランティアの活動

(1) 森林ボランティアの現況と活動

森林をはじめとしたみどりの重要性に高い意識を持つ県民が、自発的に森林ボランティア団体を結成し、植樹、育樹活動に取り組んでいます。現在、森森林ボランティアネットワークに登録されている団体は、県内に27団、個人登録が1,212名で、それぞれの地域、分野で活躍しています。また、森林ボランティア活動を行う森林である森林ボランティアフィールドには、29カ所、417.30haが登録されています。

各森林ボランティア団体は、地域、構成員及び持っている知識・技能を生かした様々な活動をしています。主な活動の内容としては、植栽、間伐等の森林整備、子どもたちを対象とした森林学習、木工・クラフト、県民を対象とした自然観察会の開催などです。また、独自のボランティアフィールドを持つ団体も多く、地域に根ざした活動を行っています。



森林ボランティア活動の様子



雨の日も



森の案内も

(2) 森林ボランティアの日の活動・フォーラム

○ 森林ボランティアの日の活動

毎年、9月の第3日曜日に開催される全国一斉森林ボランティアの日には、本県でも多くのボランティアが活動します。

平成21年度は、9月20日、始良市蒲生町の住吉池周辺で約300人の森林ボランティアが参加して実施されました。当日は好天に恵まれ、クヌギの植栽、下刈り及び除伐等の汗を流し、作業終了後は蒲生高校吹奏楽部や蒲生太鼓（てこ）坊主による演奏を楽しみました。



全国一斉森林ボランティアの日に参加したボランティア



遊歩道の整備



私たちも頑張ります



みんなでいい汗を流しました



楽しみは食事



蒲生高校吹奏楽部や蒲生太鼓（てこ）坊主の演奏もありました

○ 森林ボランティアの日フォーラム

フォーラムは、「美しい森林を育てるふるさとの森づくり」をテーマに、平成22年5月16日、県黎明館講堂にて開催されました。

基調講演に鹿児島大学教授の下川悦郎先生をお招きし、「再造林放棄地の保全」という演題で美しい森林づくりの手法について講演をいただきました。その後のパネルディスカッションは、山輝会の事務局長で建築士の喜久忠人氏、NPO法人森のヘルパー森林整備隊の前田誠理事長に加え、下川教授と国土緑化推進機構の青木常務にも参加いただいて、かごしまみどりの基金の大坪常務の司会で行われました。

途中、癒しの音楽として鹿児島女子短期大学のハンドベル同好会によるハンドベルの演奏を挟み、100名以上の出席者を交え熱心な討議が行われました。



基調講演 下川教授



パネラーの喜久氏と前田氏



鹿児島女子短期大学の
ハンドベル演奏



基金事務局長の歌も
飛び出しました



山輝会清家会長の花が会場を
華やかに飾りました

(3) 森林ボランティアの育成

○ かごしま森林の学校・森林ボランティア技術研修

かごしまみどりの基金では、平成20年度から「かごしま森林の学校」として森林・林業に関する知識、資格取得や森林体験学習の実習など年間11回の講座で森林インストラクター・森林ボランティアの養成のための講座を開催しています。

また、チェーンソー、刈り払い機の操作など森林ボランティア活動に必要な資格を取得するための「森林ボランティア技術研修」を、毎年、数回開催しています。

このほかに通信講座の受講案内など、様々な研修の機会を設けて森林ボランティアの育成を図っています。

平成21年度「かごしま森林の学校」修了生

木下博美・淵上正明・濱田了二・桑代洋子・井料浩・林裕子・宮内英世
大尾桂久・原口俊文・田平勇二・田中政通・川村むつ子・坂元光則
塚本隆二・米元忠博・田中裕樹・川村幸男・福永敦子・吉原隆雄・西村隆子
梅木時文・伊集院一智・竹内宏・窪健一



かごしま森林の学校修了式



労働安全法によるチェーンソーの講習



熱心な受講生

○ 九州・沖縄地区ブロック研修

平成22年5月7日から9日にかけては、森の研修館かごしまにおいて、「九州・沖縄地区森づくり活動コーディネーター養成ブロック研修」を開催しました。研修には九州・沖縄各県から24名が参加して志賀壮史ファシリテーターなどの指導の下、熱心なワークショップが実施されました。



九州・沖縄地区森づくり活動コーディネーター養成ブロック研修における
ブロック研修ワークショップの様子



ブロック研修現地調査

(4) 森林ボランティア連絡会

鹿児島県内で活動する各森林ボランティア団体は、鹿児島県森林ボランティア連絡会を結成し、かごしまみどりの基金内に事務局を置き活躍しています。現在24団が参加していますが、かごしまみどりの基金では、これらの団体を積極的に支援しています。

森林ボランティア団体名	代表・事務局	団 体 名	代表・事務局
鹿児島県森林インストラクター連絡協議会	上 村 行 生 鹿児島市	吉松自然を考える会	竹 中 勝 雄 湧水町
鹿児島水と緑の委員会	原 口 泉 鹿児島市	鹿児島県グリーンマスターの会	大 浦 地 政 廣 始良市
NPO法人エコ・リンク・アソシエーション	下 津 公 一 郎 南さつま市	グリーンアートさつま	小 山 五 十 三 伊佐市
NPO法人エコライフ鹿児島	田 川 日 出 夫 鹿児島市	NPO法人縄文の森をつくろう会	今 村 俊 一 指宿市
鹿児島グリーンヘルパーの会	北 方 睦 雄 鹿児島市	蒲生郷「おかべ会」	小 山 田 豊 秋 蒲生町
NPO法人さとやま	山 口 友 孝 鹿児島市	田舎の環境を守る会	末 吉 弘 典 薩摩川内市
みどりの二季会	四 本 紘 鹿児島市	美しい「緑山会」	山 元 昭 良 始良市
かごしまふるさとインストラクター会山輝会（さんきかい）	清 家 優 子 鹿児島市	森林の学校一歩会	上 原 節 雄 鹿児島市
NPO法人四季の会	塩 川 英 彬 始良市	はっぱクラブ	坂 元 光 則 薩摩川内市
さつまグリーンヘルパーの会	内 山 芳 彬 鹿児島市	林生会	脇 田 博 志布志市
NPO法人森のヘルパー森林整備隊	前 田 誠 曾於市	グローバルフォレスト	福 永 敦 子 鹿児島市
大隅森づくりの会	出 井 一 夫 鹿屋市	フォレスト22	宮 内 英 世 鹿児島市



ボランティア活動の様子

7 美しい森林づくり「かごしま美緑展」

かごしま美緑展は、県民に鹿児島のみどりのすばらしさを写真によって再認識していただき、将来にわたってみどりを創造し残していくため開催するもので、今年で4回目となります。

知事賞をはじめとする応募先品は、4月から5月にかけて鹿児島市の山形屋、霧島市役所ロビー、鹿屋市役所ロビーおよび奄美空港ビルにおいて展示されました。

【テーマ】 鹿児島県内の森林、樹木、植物類およびその存する風景、情景

【応募方法】 ・ 概ね1年以内に撮影された未発表の作品で、出品は一人1点
・ 応募期間 平成21年11月1日から12月末日まで

【主催】 財団法人かごしまみどりの基金

【後援】 鹿児島県、南日本新聞社

【審査員】 日下田 紀 三 屋久杉自然館館長、写真家
田 川 日出夫 元県立短大学長、鹿児島大学名誉教授
下 栗 淳 也 南日本新聞社編集部写真部長

【表彰】 鹿児島県知事賞 1点 副賞・5万円
かごしまみどりの基金理事長賞 5点 副賞・2万円
優 秀 賞 10点 副賞

入賞作品

鹿児島県知事賞



【マングローブの朝】 福山 由美子（奄美市） 奄美市住用町マングローブ原生園

理事長賞



【命の再生】 内匠 生樹 (鹿児島市)
霧島市大浪の池登山道

理事長賞



【大樹に守られて】 辻 典昭 (始良市)
曾於市末吉町高岡小学校

理事長賞



【秋の気配】 里村 強志 (鹿児島市)
鹿児島市上福元町児玉美術館

理事長賞



【川の流れるように】 引地 力男 (霧島市)
曾於市財部町悠久の森

理事長賞



【森の番人(ガジュマル)】 森 美佐子 (奄美市)
奄美市住用町

優秀賞



【緑溪の輝き】 藤岡 敏晃 (霧島市)
霧島市横川町赤水地区大出湧水下流

優秀賞



【棚田を育む緑の山】 池田 孝 (鹿児島市)
甲突川源流甲突池近くの棚田

優秀賞



【水辺の旋律】 春日 富士子 (霧島市)
霧島市牧園町真米甌穴群

優秀賞



【森の大樹(オキナワウラジロガシ)】 西 康範 (奄美市)
奄美市金作原原生林

優秀賞



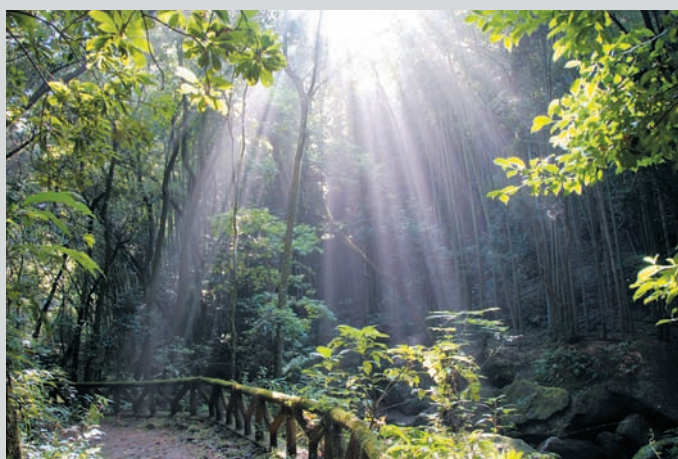
【お世話になっております】 藤野 隆三郎 (奄美市)
奄美市住用町三太郎峠

優秀賞



【トンネルからの光景】 中川 義昭 (鹿児島市)
南九州市岩屋公園近く花園トンネル

優秀賞



【日のシャワー】 吉田 怜子 (鹿児島市)
鹿児島市慈眼寺自然遊歩道

優 秀 賞



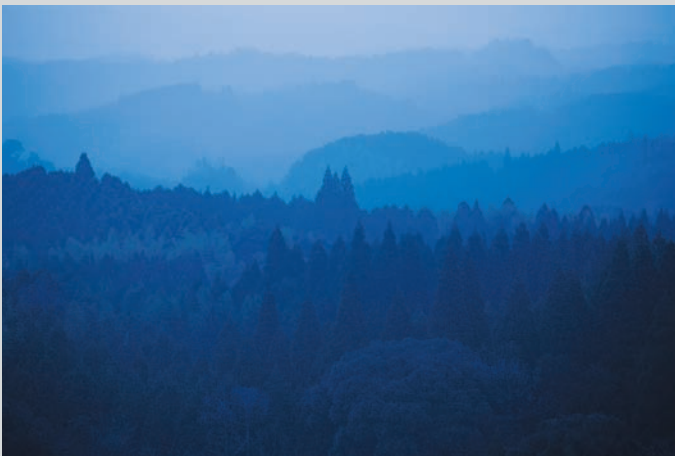
【峠の秋と桜島】 森 浩一郎 (鹿児島市)
垂水市高峠附近

優 秀 賞



【奄美の森の中でII】 久野 末勝 (龍郷町)
大島郡宇検村

優 秀 賞



【夜明まえ】 大迫 豊昭 (薩摩川内市)
霧島市横川町丸岡公園

美しい森林づくり 第5回 かごしま美緑展 募集要項

1 テーマ

鹿児島県内の森林、樹木、植物類およびその存する風景、情景

2 応募方法

(1) おおむね1年以内に撮影された未発表の作品で、出品は一人1点(組写真不可)とします。

(2) 応募期間は平成22年11月1日から12月末日までとします。

(3) モノクロ、カラー、アナログ、デジタルいずれの写真でもかまいません。

(4) 応募する写真は、四つ切り、またはA4版とし、応募票を切り取り裏面にセロテープで貼り付けてください。

(5) 審査結果の発表は、平成23年2月中旬頃、かごしまみどりの基金のホームページのほか、各入賞者へ通知します。

(6) 応募先、照会先

〒892-0816

鹿児島市山下町9-15 林業会館内

(財)かごしまみどりの基金

TEL099-225-1515 FAX099-225-1511



グリーン本部

3 主催 財団法人かごしまみどりの基金

後援 鹿児島県・南日本新聞社 (予定)

8 かごしまみどりの基金の組織体制

(1) 理事会、評議員会、運営協議会

【理事会名簿】

平成22年7月1日現在

役 職	氏 名	所 属
理 事 長	伊 藤 祐 一 郎	鹿児島県知事
常 務 理 事	大 坪 弘 幸	かごしまみどりの基金
理 事	森 博 幸	鹿児島市市長
理 事	日 高 政 勝	さつま町町長
理 事	白 石 紘 一	南九州ファミリーマート相談役
理 事	猶 木 龍 美	県森林組合連合会副会長
理 事	後 釜 禮 子	県指導林家
理 事	川 井 田 幸 一	県農業協同組合中央会会長
理 事	寺 蘭 玲 子	鹿児島女子短期大学教授
理 事	内 門 公 孝	県環境林務部長
監 事	間 世 田 武 裕	県造園建設業協会会長
監 事	有 馬 忍	県出納局長

【評議員会名簿】

平成22年6月1日現在

氏 名	所 属
山 野 隆	県森林組合連合会専務理事
寺 師 健 次	県治山林道協会専務理事
安 永 利 毅	県木材協同組合連合会専務理事
梅 北 宜 克	県漁業協同組合連合会副会長
安 藤 司	県建設業協会専務理事
寺 床 勝 也	鹿児島大学教育学部准教授
三 嶽 公 子	NPO法人かごしま文化研究所副理事長
山 野 真 理	カルチャーコネクション代表
緒 方 寛 治	鹿児島県市長会事務局長
坂 上 省 悟	鹿児島県町村会事務局長
瀬 戸 上 護	県教育庁次長
竹 ノ 内 洋 行	県環境林務部次長

【運営協議会名簿】

平成22年8月1日現在

氏 名	所 属
池 田 孝	県市長会 曾於市長
永 野 和 行	県町村会 肝付町長
鬼 塚 不 二 夫	鹿児島市緑化推進委員会委員、かごしま森林組合理事
永 岩 和 幸	県林業研究グループ連絡協議会
地 福 俊 幸	緑の少年団県連盟本部長
伊 佐 幸 子	県地域女性団体連絡協議会会長
塩 川 英 彬	県森林ボランティア連絡会代表
藤 田 一 知	南日本新聞社政経部長
下 田 勝 利	鹿児島青年会議所理事長
山 部 哲 経	鹿児島森林管理署長
竹 ノ 内 洋 行	県環境林務部次長

(2) 事務局・スタッフ

スタッフ紹介

事務局次長 原口敏夫
す ま い 鹿児島市五位野
趣 味 樹いじり、木いじり、
花いじり、土いじり
誕生星座 乙女座

常務理事 大坪弘幸
す ま い 鹿児島市桜ヶ丘
趣 味 農業、ジョギング、日曜大工
誕生星座 双子座

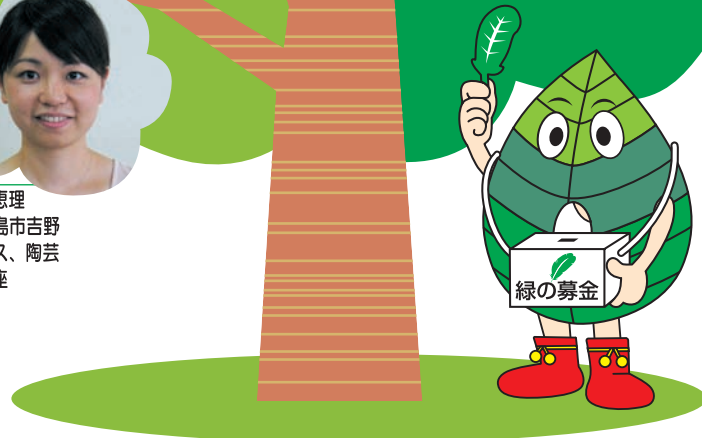
事務局長 井内祥人
す ま い 鹿児島市西陵
趣 味 クラシック音楽・オペラ鑑賞
誕生星座 天秤座

主 事 川畑翔子
す ま い 鹿児島市真砂
趣 味 バスケットボール・旅行
誕生星座 天秤座

総務企画係長 松元亜希子
す ま い 鹿児島市武
趣 味 ドライブ・
ぶらり旅
誕生星座 魚座

職 員 南條鈴子
す ま い 鹿児島市上本町
趣 味 部屋の模様替え
誕生星座 水瓶座

職 員 室屋恵理
す ま い 鹿児島市吉野
趣 味 テニス、陶芸
誕生星座 水瓶座



事務局

財団法人 かごしまみどりの基金

住 所 〒892-0816 鹿児島市山下町9-15
電 話 099(225)1426 (225)1477
F A X 099(225)1511
E - m a i l bokin@k-green.jp
ホームページ <http://www.k-green.jp>
発行年月日 平成22年8月1日



豊かな緑支える 緑の募金



- 豊かな森林をつくるために
- 地球温暖化防止のために
- 地域や学校のみどりづくりのために
- 森林ボランティア、緑の少年団の育成に

■緑の募金は「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」により実施されており、財団法人かごしまみどりの基金に寄付される個人・法人は税制上の優遇措置があります。

春期2月1日～ 4月30日
秋期9月1日～10月31日

(財)かごしまみどりの基金・市町村みどり推進協議会・鹿児島県

〒892-0816 鹿児島市山下町9-15 (林業会館4F) TEL099-225-1426・1477 FAX099-225-1511 <http://www.k-green.jp> E-mail:bokin@k-green.jp